

Equality



—— 誰もが平等の権利を持つ社会へ ——

100号

ウィズ コロナ
**With COVID-19
2021**

文京区男女平等センター

男女共同参画支援事業

男女共同参画週間記念講演会

グローバル時代は 女性の時代

～その経済特性と愛が世界を救う～

グローバル時代と女性たちは相性抜群。
女性たちの愛は無敵。これらを考えてみます。

講師 **浜 矩子** さん
(同志社大学大学院ビジネス研究科
専門職学位課程教授)

日時 **2021年6月13日(日)**
14:00～16:00 (開場 13:30～)

オンライン開催: Zoomから参加
オンライン会議ツール (Zoom) を使用して、セミナーに参加いただく方法です。
(パソコン/スマートフォン等の機器やインターネット接続環境は、ご自身で準備をお願いします。)

申込方法
センターホームページから、お申込みください。➡

申込締切: **6月1日(火)必着**

申込方法
住所はがき (複数人まで) に参加者全員の住所・氏名・年代・電話番号・連絡用はがきに宛先を明記の上、お申込みください。
オンライン開催のみ手紙送付あり。希望者は申込時に「手紙送付希望」と記載ください。

申込締切: **6月1日(火)必着**

申込・問合せ: 文京区男女平等センター ホームページ <http://www.bunkyo-danjo.jp/>
〒113-0033 文京区本郷 4-8-3 (本郷真砂アーバンハイツ1期)
TEL.03(3814)6159 FAX.03(5689)4534

主催: 文京区女性団体連絡会

〈アンケートより〉

- ・反グローバル化に用心が必要という点、最も心に残った言葉でした。日本が海外の食糧や労働力の搾取を行わないためにも、グローバル化は悪なのではないか、という考えが自分の中にありましたが、必ずしもグローバル化=搾取ではなく、それを防ぐ仕組みを作れば良いのだということに気づかされました。
- ・男女共同参画とスカノミクスの話は考えさせられた。女性が持っている圧倒的な強さが色々な所で社会を変えていく、ということ、女性らしさといわれている行動と反対の行動をとる、バッシングはじめたものと思え!! は、感動です。
- ・ジェンダー平等の理解が深まったのはもちろんのこと、今後自分がやっていきたいことへの支えとなりました。力強さ、女性の強さ、大きさ、自信と勇気、希望を持つことが大切。

【2021年度 文京区男女平等センター事業 一覧】

2021年

- 4月24日 女性研究者が語る「理工系を選ぶとこんなにオトク！」
- 4月25日～5月11日 感染症対応のため休館
- 6月11日 第1回 利用者懇談会
- 6月13日 グローバル時代は女性の時代
～その経済特性と愛が世界を救う～ <オンライン開催>
- 7月30日 広報誌 Equality 98号
- 10月6日 資源ごみの行方は…!? ～リサイクルの「知りたい」と「これから」～
- 10月23日～24日 第36回文京区男女平等センターまつり「だれもが生きやすい社会へ」
- 11月12日 第2回 利用者懇談会
- 11月18日 登録団体企画助成事業 翔の会「おもしろ! 歌舞伎の裏話」
- 11月20日 女性の権利を国際基準に! ～どうなっているの? 日本のジェンダー平等～
- 11月27日 私のまわりの気がつかないDV ～コロナ禍での現実～
- 12月11日 人生後半戦・男の介護 ～男も介護を担う時代あなたはどうする!?
- 12月24日 広報誌 Equality 99号

2022年

- 1月19日 今から知っておきたい介護の基礎知識 ～介護の心構えと対応方法～
- 1月29日 労働分野のジェンダー平等 ～コロナ禍の女性労働～
- 2月1日～3月20日 利用者アンケート
- 2月12日 とにかくさげんでにげるんだ! ～子どもの人権と犯罪防止～
- 2月26日 登録団体活動フェア
- 3月6日 男女平等参画の今とこれから ～ジェンダーの視点からみる1人ひとりが輝く社会へ～
- 3月26日 男女平等センターシネマ「ピリブ 未来への大逆転」
- 3月31日 広報誌 Equality 100号

配偶者等暴力防止啓発事業

文京区男女平等センター事業 2021 配偶者等暴力防止啓発事業

私のまわりの 気がつかないDV

～コロナ禍での現実～

日時: 令和3年11月27日(土)
午後1時30分～3時

講師
加藤 昌子 さん
(弁護士・日本子ども虐待防止学会会員)

会場: 文京区男女平等センター研修室A
定員: 30名(当日先着順) 入場無料

手話通訳・保育(1歳～未就学児)あり
(文京区在住・在勤・在学者に限る)
要予約 申込締め切り: 11月17日(水)

問い合わせ 文京区男女平等センター 本館4-8-3 (本館4階アール・ノバ11F)
TEL 03-3814-6159 FAX 03-5689-4534
ホームページ <http://www.bunkyo-danjo.jp/>
(手話・保育申込み方法・地図は裏面参照)

主催 文京区女性団体連絡会



児童虐待ってどんなこと！

もし、みんなのお家でこんなことが起きていたら

身体的虐待

- 叩かれる、殴られる、蹴られる
- タバコの火などを押しつけられる
- 逆さづりにされる
- ベランダや外にたされて、いえに はいれない

心理的虐待

- お父さん、お母さんに無視される
- 「こんなこともできないなんてバカ 死ぬ」などと言われる
- 「宿題終わらなかつたら ご飯抜きだからね！」と 脅される。
- お父さん、お母さんがいつも喧嘩していて怖い

〈アンケートより〉

- ・ 現実にあった話を例で聞いて、心を痛めました。躊躇せず、とりあえず法律の力を借りるという事を頭に入れておきます。相談することが大切だと思います。
- ・ DV被害者の女性が殺人者として裁かれるケースになってしまうのは哀しい。DVは、家庭内の問題ではなく人権侵害なのですね。DVもいじめも、被害者にとって大変なことなのに、そこから逃れるのも大変なことだとわかりました。
- ・ 分かりやすく、事例を含めた内容で理解することが出来ました。DVの被害は子どもの身体(脳)におよんでいる話に心が痛みます。
- ・ むずかしいことだと思った。加害者には病気があって、そんなことになるのではないのでしょうか。加害者を助ければDVにならないのか…。

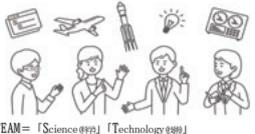
理系女子育成事業

文京区男女平等センター事業 2020

女性研究者が語る 「理工系を選ぶとこんなにオトク！」

来た、見た、良かった！ STEAM 分野





STEAM = 「Science」 「Technology」
「Engineering」 「Art」 「Mathematics」

理系の教養を身に付けることをわざわざ放棄している人が多すぎて勿体ないと思っています。これからの世の中を生きていくうえで、理系の教養も必要ということをお話します。

参加無料

日時: 令和3年4月24日(土) 14:00～15:30

場所: 文京区男女平等センター

講師: 東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻 教授
熊田 亜紀子 さん
(東京大学)工学系研究科長特別補佐ダイバーシティ推進担当

対象: 中学生、高校生、保護者、教育関係者、その他興味のある方

定員: 30名

申込: 電話で4月10日(土)までに申し込んでください

問い合わせ 文京区男女平等センター 〒113-0033 文京区本郷 4-8-3
TEL 03-3814-6159 FAX 03-5689-4534 ホームページ <http://www.bunkyo-danjo.jp/>
主催: 文京区女性団体連絡会

〈アンケートより〉

- ・ 理系分野が苦手な方なのですが、理系分野に興味を持つことができました。理系分野で少し頑張ってみようと思った。(10代)
- ・ おそらく母に「女」として理系でどう進んでいくのか考えさせるために連れてこられたのですが、とても楽しかったです。電気工学にあまり詳しくなくこれからなのですが、風力発電の遮断機の話とても心ひかれました。貴重なお話ありがとうございました。
- ・ 社会的課題にどう対応しているか(再エネの話はありましたが)、もう少し話していけると、子ども(幼い時から“SDGs”の世代)に良かったかなと思います。例えば、今、日本の最重要課題の1つである“インフラ老朽化”、これはエンジニアリングの方々の力なくしては解決できないと思います。今日は、ありがとうございました。大変有意義でした。(50代)

＜浅倉むつ子さんには2回にわたってご講演いただきました＞



プラスワンセミナーⅠ 文京区男女平等センター事業 2021

女性の権利を国際基準に！

～どうなっているの？日本のジェンダー平等～

講師 早稲田大学名誉教授
浅倉むつ子さん

「女性差別撤廃条約」が日本で効力を発してから、36年。でも、日本のジェンダー平等は、世界のなかで、120位。低いままです。条約の実効性をあげるために必要な「選択議定書」が批准されれば、個人通報制度により、迅速に通報、通報できる道が拓けます。ともに学んでみませんか！

日時 令和3年11月20日(土)
14:00～16:00 (開場 13:30)

会場 文京区男女平等センター 研修室A

定員 30人 (申込順) 無料

申し込み方法：
はがき又は FAX に郵送 (1歳未満まで) の住所・氏名 (ふりがな)、電話番号を明記し、11月9日(火)までに男女平等センター (ホームページ) に申し込みを。
三手紙返状 保育 (1歳～就学前) 希望者は、裏面使用し11月9日(火)までに学務が必要です。区内在住・勤務(在学)に限る。

問い合わせ先 文京区男女平等センター 〒113-0033 文京区本郷4-8-3
TEL 3814-6159 FAX 5689-4534
ホームページ <http://www.bunkyo-danjo.jp/>

主催 文京区女性団体連絡会

〈アンケートより〉

- ずっと主婦してきました。子どものころから「女性だから」という言葉にふりまわされモヤモヤしてきました。男女1人ずつ子どもがいますが、この日本で公平な子育てをと考えるなら、娘の方にもっと力やお金を注いでよかったですのかもしれない。また、日本より海外で暮らして育てる方法もあったかもしれません。いろいろ考えさせられました。ありがとうございました。
- 大学時代に女性学を学びました。それから20年経ってもまだ、今なお変わらない男女不平等社会に失望していますが、本日の話を伺い、たまたか続けなければと感じました。
- 女性、人権に対して問題がたくさんあることを知りました。ダイバーシティやSDGsについて色々取り組んでいるのに、選択議定書を批准しないのは、矛盾ではないかと思いました。女性として、とても考えさせられる内容でした。

YouTube 配信中

プラスワンセミナーⅡ 文京区男女平等センター2021

労働分野のジェンダー平等

～ コロナ禍の女性労働 ～

日時 1月29日(土)
13:30～15:30(開場 13:00)

講師 早稲田大学名誉教授
浅倉むつ子さん

結婚後も仕事を続ける女性が増える一方「男は仕事・家庭のことは女性が」という性別役割分業観が根深く、女性の労働が二次的なものとされています。労働分野におけるジェンダー平等を求めて、打開策や今後の見通しについて考えていきたいと思えます。

会場 文京区男女平等センター研修室A

定員 30人(申込順)

申込 八がキ・FAX・ホームページのいずれかの方法で(1枚2人まで) 事業名(労働分野のジェンダー平等)・参加者の住所・氏名(ふりがな) 電話番号を明記し、1月24日(月)までに男女平等センターへ

手話通訳・保育(1歳から就学前)(区内在住・勤務・在学者に限る) 希望者は1月24日(月)までに申し込みと合わせてお知らせください

問い合わせ先 文京区男女平等センター
〒113-0033 文京区本郷4-8-3 本郷アーバンハイツ1階
TEL 03-3814-6159 FAX 03-5689-4534
ホームページ <http://www.bunkyo-danjo.jp/>

主催 文京区女性団体連絡会

〈アンケートより〉

- 男女の雇用・賃金の格差は非常に根深いものがある。通常でもそうなのにコロナ禍により立場の弱い女性に、更に過酷に襲いかかっているということが様々な統計で理解できた。
- 私の職場でも上昇する女性は、男性と同じ働き方のできる「ケアレス・マン」がほとんどです。そのような女性が役職に就くから、男女平等は進まないのではないかと思います。
- ケア労働をはじめ価値観の転換が、新しい時代をつくっていくことを学びました。司法も政治も弱い人を守っているのか、私たちは厳しく監視していくべきだと思います。批判と傍観者にならずに。

セミナー (全4回)

あなたに何かひとつプラスに
セミナーです

プラスワンセミナーⅢ 文京区男女平等センター事業 2021

とにかくさげんで にげるんだ!

—子どもの人権と犯罪防止—

日時: **2月12日(土)**
13:30~15:30 (開場13:00)

講師: **安藤 由紀さん**
人権アソシエーター・絵本作家




アメリカのCAPプログラムを日本へ導入。16年に渡って子どもへの暴力防止プログラムの普及活動に従事している。創作絵本『いっさげんでにげるんだ!』他多数。CAPプログラム:子どもが自分を尊重しながら、いじめや虐待・性暴力から身を守る方法を教える子供教育プログラム

会場: 文京区男女平等センター 研修室A
定員: 50人 (申込順) **無料**

申込: はがき・FAX・ホームページのいずれかの方法で(1枚2名まで)、事業名(とにかくさげんでにげるんだ)、参加者の住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記し、2月8日(火)までに男女平等センターへ
※手話通訳・保育(1歳~就学前児、区内在住・在勤・在学者に限る)希望者は、裏面使用し2月4日(金)までにお申し込みください。

問い合わせ先 文京区男女平等センター 〒113-0033 文京区本郷4-8-3
TEL 3814-6159 FAX 5689-4534
ホームページ <http://www.bunyo-danjo.jp/>
主催 文京区女性団体連絡会



〈アンケートより〉

- とてもわかりやすい言葉で説明してくださり、大人が理解しておかなければならない人権についての内容がよく理解できました。自分が子どもたちに何を伝えられるのか改めて考えました。
- 「性教育」が大上段から構えて行うものでなく、私たち大人の日常の言動で行っていくものだと知りました。子どもの人権が守られるよう子どもたちの環境・社会を変えていく努力が公私に速やかにできるよう、たくさんの方が知っていくことが大事だと思いました。その意味でも本日のセミナーの意義は大きいと思います。
- 子どもの権利や人権についてあらためて考えることができました。子どもの幸福度を上げるために、大人が何をすべきか考えていく必要があると感じました。

 YouTube 4月11日より配信予定

プラスワンセミナーⅣ 文京区男女平等センター事業 2021

男女平等参画の 今とこれから

=ジェンダーの視点からみる1人ひとりが輝く社会へ=

日時: **3月6日(日)**
14:00~16:00(開場13:30)

講師: **内海崎 貴子さん**
川村学園女子大学 教授
文京区男女平等参画推進会議会長



会場: 文京区男女平等センター 研修室A **無料**

定員: 30人(申込順)

申込方法: ハガキ・FAX・ホームページのいずれかの方法で(1枚2名まで)
事業名「男女平等参画の今とこれから」、住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記し3月1日(日)までに男女平等センターへ
※手話通訳・保育(1歳~就学前児、区内在住・在勤・在学者に限る)希望者は2月25日(金)までにお申し込みください。申し込みFAX用紙と地図は裏面※

問い合わせ先 文京区男女平等センター
〒113-0033 文京区本郷4-8-3 本郷四町アーバンハイツ1階
TEL: 3814-6159 FAX: 5689-4534
ホームページ <http://www.bunkyo-danjo.jp/>
主催 文京区女性団体連絡会



〈アンケートより〉

- 素晴らしい講演でした。無意識のジェンダーバイアスが自分自身や社会の中に深くしみ込んでいると痛感しました。幼少期からの教育がどれほど大切かわかり、内海崎先生の育てられた生徒さんたちに期待してしまいます。文京区の制度が進んでいることも初めて知り、制度を実現するためにも意識を変える必要があるのかがわかりました。
- 少子化の原因が育児=母親というジェンダー役割を変えていくには、男女が平等に家事・育児を分担していくのが当然という教育が必要ということに気づかされた。
- 分断や差別が社会の様々な問題に連なっています。先生の「多数のなかのひとりの存在」の視点が大切だと思いました。
- 教員養成課程にジェンダー、性教育が入っていないことに驚きました。

区政を知る事業

私たちが暮らす文京区の区政を、男女平等の観点からこれまでより少しでも詳しく知るために企画している事業。テーマに沿った区の担当者からの講義です

区政を知る事業 文京区男女平等センター事業 2021

資源ごみの行方は…!?

◆リサイクルの「知りたい」と「これから」◆

日 時: 10月6日(水)
14:00~15:30

講 師: 村岡 健市 さん
(文京区リサイクル清掃課長)

会 場: 文京区男女平等センター 研修室 A

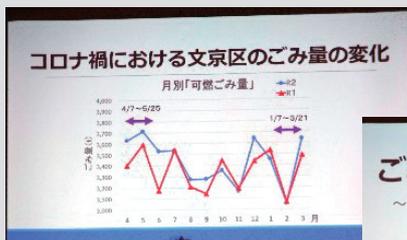
対 象: どなたでも

定 員: 30人(当日先着順) **無料**

私たちが出している「ごみ」は、最終的にどうなっているのでしょうか。大切な「地球」を次の世代に引き継いでいくために、限りある資源を有効に繰り返し使う循環型社会の実現が急務です。リサイクルの仕組みを理解し、私たちができることから始めていきましょう!

※手話通訳・保育(1歳から就学前児)
希望者は9月27日(月)までに裏面にて申込み(区内在住・勤務・在学者に限る)

問い合わせ先 文京区男女平等センター
〒113-0033 文京区本郷4-8-3 本郷アーバンハイツ1階
TEL03-3814-6159 FAX03-5689-4534
ホームページ <http://www.bunkyo-danjo.jp/>
主催 文京区女性団体連絡会

ごみ・資源の行方は…!?

～リサイクルの「知りたい」と「これから」～

- ・最終、私たちが出しているごみは最終的にどうなっているの?
- ・なぜ、ごみ処理場まで運ばなければならないの?
- ・なぜ、リサイクルしなければならないの?
- ・プラスチックごみを燃焼させてなぜいいの?
- ・資源はなぜ燃焼させてなぜいいの?

私たちに身近なリサイクルについてちょっとだけ考えてみましょう。



〈アンケートより〉

- ・最終処理場があと50年で限界と聞いて心配になりました。質問された方の意識の高さにビックリしました。
- ・とてもわかりやすく「リサイクル」の全体像を知ることができました。初めて聞くこと、生活に役立てていける情報もありました。
- ・リサイクルされるから使い捨てしてもよいと思わず、そもそも捨てなくてよい生活様式を広めるためのアクションを起こさないのですか。例えば、ペットボトル使わず水筒など。

登録団体活動フェア



男女平等センターで活動する登録団体の皆さんに、団体同士が交流する場として登録団体活動フェアを開催しています。

当日は、それぞれの団体から、日頃の活動や作品、抱える課題など様々なことが紹介されました。その後、参加者間で、活動の具体的な内容やコロナ禍の中での活動などの質問や発言も飛び交い、活発な会となりました。

日本女性会議

未来へつなぐまちづくりは人づくり
～甲斐の国からとにも～

日本女性会議 2021 in 甲府

大会プログラム

2021(令和3)年
オンライン開催 オフライン開催(同時開催)
10月22日(23時) 24日(30時)

主催 日本女性会議 2021 in 甲府実行委員会・甲府市



甲府市で開催されたこの会議に文京区女性団体連絡会の常任委員全員がリモートで参加しました。

家庭生活への参画支援事業

男女平等を実現するためには、男性の家庭生活への参画が不可欠。
その視点から企画しています

♥10の心の花束

- ♥ 直す心・治す心♥
- ♥ 励ます心♥
- ♥ 理解する心♥
- ♥ はくむ心♥
- ♥ 感謝する心♥
- ♥ 努力する心♥
- ♥ いたわる心♥
- ♥ 協力する心♥
- ♥ 安らく心♥
- ♥ 愛する心♥



家庭生活への参画支援事業① 男女平等センター事業 2021

人生後半戦・男の介護

男も介護を担う時代 あなたはどうする?!

身近な人を支えたり 支えられたり……
その日はあなたにもやってくる
誰もが介護の当事者となる可能性のあるこの時代
その時の心構えを知り 今から備えましょう

日 時: 12月11日(土)
13:30~15:00

会 場: 男女平等センター

講 師: 中谷 信一 さん
介護福祉士、「ゆしまの郷」施設長



対 象: どなたでも
定 員: 30名(申込順) **無料**

申込方法: はがき又はFAX(1枚2人まで)に参加者の住所・氏名(ふりがな)、
電話番号を明記し、11月30日(火)までに男女平等センターへ
(ホームページからの申込みも可)

家庭生活への参画支援事業は 家事・育児・介護等の家庭生活のなかで、主に男性を対象に
固定的な性別役割分担意識の見直しを、考える機会を持つような事業として企画しました。

※手話通訳・保育(1歳から未就学児)の希望者は11月30日(火)までに
裏面にて申込み(区内在住・勤務・在学者に限る)

問い合わせ先 〒113-0033 東京都文京区本郷 4-8-3 本郷真砂アーバンハイツ1階
文京区男女平等センター TEL03-3814-6159 FAX 03-5689-4534
ホームページ <http://www.bunkyo-danjo.jp/>

主催 文京区女性団体連絡会



〈アンケートより〉

- 一人で妻の介護を続けています。そろそろ終着駅が見えてきています。家以外に居場所がないので居場所作りを心がけていこうと思います。良いきっかけになりました。
- 男性の場合、介護以前に料理等家事が大変!ということに改めて気がつきました。まずは、自分自身が「日常生活のことができる」「人とコミュニケーションする」などを当たり前のようにできることが必要で、そのうえでの介護かな?と思いました。
- 現在介護進行形です。「10の心の花束」なかなか持ってません。お話を聞いて心に刻もうと感じました。
- 男の介護、難しい。男、女だけでなく皆で協力していかなければと思います。日頃からお互いに、後半戦を過ごすので、話し合いが出来る空気感があると良いです。努力してみます。

家庭生活への参画支援事業② 男女平等センター事業 2021

今から知っておきたい 介護の基礎知識

~介護の心構えと対応方法~

日時: 1月19日(水)
14:00~15:30

会場: 男女平等センター研修室A

講師: 阿部 智子 さん
訪問看護ステーションけせら所長



対 象: どなたでも
定 員: 30名(申込順) **無料**

申込方法: はがき又はFAX(1枚2人まで)に、事業名「今から知っておきたい
介護の基礎知識」、参加者の住所・氏名(ふりがな)、電話番号を明
記し、1月11日(火)までに男女平等センターへ
(ホームページからの申込みも可)

家庭生活への参画支援事業は 家事・育児・介護等の家庭生活のなかで、主に男性を対象に
固定的な性別役割分担意識の見直しを、考える機会を持つような事業として企画しました。

※手話通訳・保育(1歳から未就学児)の希望者は、1月11日(火)までに
裏面にて、申込み(区内在住・勤務・在学者に限る)

問い合わせ先 〒113-0033 東京都文京区本郷 4-8-3 本郷真砂アーバンハイツ1階
文京区男女平等センター TEL03-3814-6159 FAX 03-5689-4534
ホームページ <http://www.bunkyo-danjo.jp/>

主催 文京区女性団体連絡会



〈アンケートより〉

- 実に面白い講演でした。気さくなお人柄が感じられ、テンポの良い話し方がとても聞きやすかったです。豊富な知識を自分の言葉で話してくれたのがよかったです。自分らしく生き、自分らしく死んでいくために、もっと考えなくてはいけないと思いました。
- 内容が身につまされました。
- 大変分かりやすくして理解しやすかった。
- 経験豊富な先生のお話が聞けてよかったです。文京区での相談窓口のご案内がとてもわかりやすくよかったです。
- わかりやすい言葉で伝えていただき、介護への理解が深まりました。弱って少しずつ死に近づくなかで、どのようにQOLを作っていくのか。私も介護者の一人ですが、家族そして自分の幸せについて考えました。良い機会をありがとうございました。

女性活躍推進事業

男女平等センターシネマ

「ビリーブ」未来への大逆転

ルース・ベイダー・ギンズバーグ



1970年代アメリカ世紀の(男女平等)裁判に挑んだ女性弁護士の爽快な感動秘話

入場無料

令和4年
3月26日(土)
10:30~12:30
(10:00開場)

会場
文京区男女平等センター
研修室A

定員
50名(当日先着順)

※保育希望者(区内在住・在勤・在学者、1歳から就学前)は3月16日(水)までに男女平等センターへ申込

申込・問い合わせ先
文京区男女平等センター
〒113-0033 文京区本郷4-8-3 (7-Floor)711号
TEL 03-3814-6159 FAX 03-5689-4534
ホームページ <http://www.bunkyo-danjo.jp/>

主催 文京区女性団体連絡会

2020年に亡くなった、アメリカ最高裁判事の草分け的存在、女性の権利活動家、ルース・ベイダー・ギンズバーグ。性差別の撤廃を強く求めた彼女の生涯を描いた映画です。

解説

「博士と彼女のセオリー」「ローグ・ワン スター・ウォーズ・ストーリー」のフェリシティ・ジョーンズ主演で、実話をもとに史上初の男女平等裁判に挑んだ女性弁護士を描いたドラマ。のちにアメリカで最高裁判事を務めることとなる。

ルース・ギンズバーグは、貧しいユダヤ人家庭に生まれ、努力の末に名門ハーバード法科大学院に入学する。夫マーティの協力のもと彼女は大学院を首席で卒業するが、女性であることを理由にルースを雇い入れる法律事務所はどこにもなかった。やむなく大学教授となったルースは、男女平等の講義に力を入れながらも、弁護士への夢を捨てきれずにいた。やがてある訴訟記録を目にし、それが歴史を変える裁判になると信じたルースは自ら弁護を買って出るが…。ルース役をジョーンズが演じるほか、彼女を支え続ける夫役を「君の名前で僕を呼んで」のアーミー・ハマー、伝説の弁護士役を「ミザリー」のキャシー・ベイツがそれぞれ演じる。監督は「ディープ・インパクト」のミミ・レダー。

登録団体企画助成事業

男女平等センター登録団体が区民に向けた事業を企画・実施することを支援する事業です。今回は「翔(しょう)の会」が歌舞伎を取り上げました。

登録団体企画助成事業 文京区男女平等センター事業 2021



おもしろ! 歌舞伎の裏話

—400年の歳月を超えて「新しい歌舞伎」の芽生え—

講師 歌舞伎研究家
喜野斗 勝 さん

日時 令和3年11月18日(木) 14:00~16:00
会場 文京区男女平等センター 研修室A
定員 30人(抽選)
参加費 無料

年は重ねても気持ちは若々しく
さまざまな文化を楽しく学びましょう!

★お問合せ 翔の会 090-1110-0102

申込み方法:
往復はがきに「歌舞伎講座希望」、参加者全員(1枚2人まで)の住所・氏名・電話番号と返信用にもあて先を明記し、10月31日(日)までに男女平等センターまでお送りください。

文京区男女平等センター 〒113-0033 文京区本郷4-8-3 (7-Floor)711号
TEL 03-3814-6159 FAX 03-5689-4534 ホームページ <http://www.bunkyo-danjo.jp>

主催: 翔の会 共催: 文京区女性団体連絡会



講師: 1935年、神奈川県鎌倉市生まれ。父は歌舞伎役者・二代目市川小太夫。伯父は初代市川猿翁(先々代猿之助)

〈アンケートより〉

- 先代勘三郎のニューヨーク公演等のDVDが見られとてもとても嬉しかったです。盛り上げる事の地道な活動も知れて凄かったです。
- タイトル通りのお話を伺う事が出来ました。ありがとうございました。日本の伝統芸能として次世代にどう引き継ぐかしっかり見ていこうと思えました。観客としても楽しんでいこうと思います。
- 楽しい企画・ビデオ、いろんな話題で良かった。勉強になり、良い出会いでした。
- 団十郎さんの話、面白かったです。

センターからのお知らせ

〈男女平等センターが投票所になりました〉



「令和3年10月31日 第49回衆議院議員選挙」

男女平等センター（第15投票所） 投票者数（投票日当日） 3,184人 投票率64.87%

・文京区投票率（小選挙区） 65.06%（東京23区26市における投票率第一位）

〈資料コーナー展示〉

資料コーナーでは、Equality98号で紹介したジュニア向け図書をはじめ、ダイバーシティに関するさまざまな本を陳列しています。

3年度は、小さなスペースで本の表紙を見やすく展示できるブックスタンドを設置しました。



〈備品が新しくなりました〉



研修室Bの講師用演台
と和室の収納棚が新し
くなりました。



長らく使用いただいた団体用ロッカーを
昨年12月に入れ替えました。これにより
一つ一つのロッカーが大きくなり、
使いやすくなりました。

3月8日「国際女性デー」を記念しシンポジウムを開催しました

UN Women（国連女性機関）

2022年国際女性デーテーマ

「持続可能な明日に向けて、 ジェンダー平等をいま」

日時：2022年3月4日（金）

午後6時30分～午後8時30分

会場：オンライン開催



国連は、1975年の国際婦人年において、3月8日を国際女性デーと決めました。20世紀初頭の北米とヨーロッパにおける運動に端を発し、途上国と先進国の双方で、国際的な女性運動が広がってきました。国際女性デーは、一般の女性たちが達成してきた成果、そして勇気と決断をたたえる日として、全世界で記念イベントが開催されています。

文京区ではシンポジウム「わたしが変える地球の未来～日々の暮らしでできること～」を開催しました。前半はUN Women（国連女性機関）日本事務所長の石川 雅恵さんにUN Womenの取組や文京区とのつながり、今年の国際女性デーのテーマについてお話しいただき、後半は一級建築士の貝塚 恭子さん、環境カウンセラーの沼田 美穂さん、気象予報士の水越 祐一さんをお迎えして、地球のために今日からできるエコ活動や、性別にかかわらず自分らしく活躍することについてのパネルディスカッションを行いました。

参加者からは、「身の回りの小さいことの積み重ねでも地球環境や近い将来の私たちの生活が大きく変わることに気づきました。」「SDGsと環境、女性（への影響）との繋がりも知ることができてよかった。」といった感想が寄せられました。

「対等に、さわやかに！パートナーに素直な気持ちを伝えるコミュニケーションを学ぼう」を開催しました

日時：2021年12月19日（日）午前10時～正午 会場：オンライン開催

講師 花崎 晶さん（公認心理師、相談カウンセラー）

相手を尊重しながら、素直に対等に自分の気持ちを伝える「アサーティブ・コミュニケーション」について学ぶオンライン講座を開催しました。アサーティブ・コミュニケーションの概要説明を始め、実際の事例の紹介や個人ワークを行い、参加者が自分の人間関係を見直すきっかけとなりました。

参加者からは、「優しい口調で、様々なケースに対してもそれぞれ共感されながらお話されているところがとても良かった」「自分達のあり方を振り返り話し合う貴重なきっかけとなった」といった感想が寄せられました。

文京区女性のエンパワーメント原則（WEPs）推進事業所のご紹介

2010年、国連グローバル・コンパクトとUNIFEM（現UN Women）は、女性が社会的にその力を発揮できる環境の整備に企業が積極的に取り組むための行動指針である「女性のエンパワーメント原則（WEPs）」を作成しました。

文京区では、このWEPsに賛同し、女性の活躍推進に取り組む区内事業所を募集し、「文京区女性のエンパワーメント原則推進事業所」として登録することで区内での女性のエンパワーメントを推進する取組を行っています。

今回はこの「文京区女性のエンパワーメント原則推進事業所」の登録企業である、株式会社ジーエムシーの取組をご紹介します。

株式会社ジーエムシー

<http://www.gmc-builkanri.co.jp/>



株式会社ジーエムシー
General Maintenance Company

〈事業内容〉

オフィスビル、マンション、商業施設、宿泊施設や公共施設等様々な建物の設備管理及び環境衛生管理を行っています。

〈女性の活躍推進に向けた取り組み〉

- 女性契約社員の正社員への登用を進めています。
- 女性社員の管理監督職への任用を進めています。
- 次世代育成教育の一環として実施している社内教育へ、女性社員の参加を促進しています。
- 地域貢献策として、町内行事等への積極的な参加を行っています。

〈事業所PR〉

弊社は女性が約半数近くを占めており女性が働きやすい企業です。令和2年度昇格試験において、女性2名を含む社員登用試験を実施。受験資格に男女差を設けず、あくまでも個人の能力を評価しています。また直近の組織発令でも女性課長の発令を行うなど女性活躍の場を広げております。

今後も従業員が仕事と生活を両立でき、更に働きやすい環境を作る事で、雇用の安定を図って行きたいと考えております。

〈女性の活躍〉

ビルの日常の清掃業務や公共施設での受付業務などの現場業務だけではなく、部門の管理職に至るまで幅広く活躍しています。本年度は定期清掃業務で女性を採用し教育をしていく予定です。

〈活躍中の従業員インタビュー〉

2015年入社 日常清掃担当 Eさん

・仕事をしてきてよかったと思う点は？

清掃業務は体を使う作業のため大変ですが、施設の方々と顔見知りになり、話しかけてくださったり、お褒めのお言葉をいただくと、この仕事をしてきてよかったと思います。今後もそういった関係性を大事にし、お仕事をしていきたいと考えています。

センターからのお知らせ



第1回プラスワンセミナーで収録された内容が文京区民チャンネルの放送番組として、インターネット（YouTube）で動画配信されています。興味のある方は、YouTubeで「文京区男女平等センター」と検索してください。なお、第3回プラスワンセミナーも4月11日から配信されます。

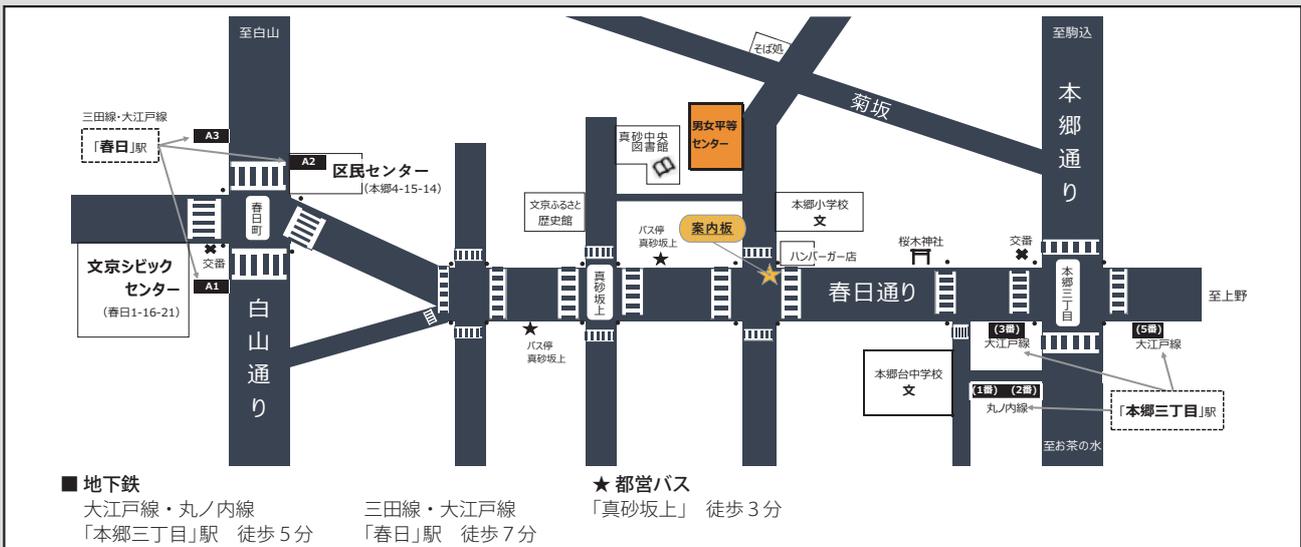


小児がんの子どもたちの絵画展

センターロビー展示



3月1日～8日は「女性の健康週間」。文京保健所健康推進課が、女性のライフステージと健康、女性特有のがん、女性のメンタルヘルスなどのパネルをロビーに展示しました。



編集後記

コロナがおさまりません。地球がこれだけ近い（民間人が裏側へ1日で行ける）ということは、ほほひとつの塊になってるといこと、世界丸ごとで駆逐しないと終わらないといことだと感じます。そんな中でロシアのウクライナへの爆撃は、ひとつの身体の中で内臓同士がけんかしてるようなもの、結局はその身体、つまり地球を痛めつけ、人類を痛めつけてしまうこと…。

国連の会議場で目にする女性はごく少数。戦争になれば、一気に男女平等は後退してしまうのが常です。

この先10年の間に、革新的な技術で気候変動を止める、さらに戻す事が出来なければ、人類は間違いなく地球に住めなくなると予想されています。SDGsは人類生き残りの最後の砦。取り組みにも心して取り掛からねばならない時代の到来です。
 (大内)